

ムダにムダを重ねる徳山ダム「導水路」はいらない！

## 導水路はいらない！愛知の会

会報 15号

2012年06月13日

〒467-0853

名古屋市瑞穂区内浜町1-15

加藤伸久方

TEL/FAX 052-811-8069

URL: <http://www.dousuiro-aichi.org/>

—「導水路」建設ノーが県民の総意、県知事らはムダ遣いを止めて下さい！—

### 5/16（水）住民訴訟・第15回口頭弁論が開かれる

“五月晴れ”の下、約20人の支援者が参加の事前集会では、小林共同代表より証人喚問をめぐる動き、長良川市民学習会の武藤さんより「なごや環境大学」や5/15岐阜県知事交渉(P4~5 投稿)、春日井の林さんより「秘密保全法」と「マイナンバー法」にNO！などの取り組みが報告・確認しました。

法廷では、裁判長が女性の福井裁判長へ交代。原告陳述は、岩田 和己さんが商売人としての強烈な原体験から、①「ムダ遣い」はダメ ②「導水路」ノーが県民の総意 ③ 地球環境の保全と県財政の健全化を実現するために、公正な判決を要望します などと力強く意見陳述(P2~3 収録)しました。



### 裁判の今後について、6/26（火）に第1回「進行協議」で打合せ

報告集会では、在間弁護団長より法廷でやり取りの「書面」(別冊参照)と、今後の裁判を協議する第1回「進行協議」について解説がありました。



冒頭、“水余り”実態を立証する『「導水路」事業・愛知県需給想定調査 検討書補充版』をミニ学習(P6~7 寄稿)しました。

次いで、「尋問事項書」(証人、山内克典岐阜大名誉教授と富樫幸一岐阜大教授への)や、「意見書」(被告側が申請の証人陳述は“準備書面の引き写し”、一貫して農業用水を担当のB氏はH16年当時の経緯を不詳につき“証人として不適格”などと主張)についてレクチャーを受け、

参加者一同大いに理解を深めました。

一方、被告側(愛知県知事ら)は“原告側は主尋問を主張しているに過ぎない”と全面的に反論。主張が異なる証人尋問について、その打合を6/26(火)行うことになりました。

P1~3	5/16「導水路」裁判・第15回口頭弁論(&原告・岩田さんの意見陳述書)について
P4~5	投稿*河口堰開門調査、導水路中止をめざして・・・武藤 仁「市民学習会」事務局長
P6~7	投稿*市民運動を根絶やしにする「秘密保全法」を止めよう！・・・濱嶋 将周 弁護士
P8~9	寄稿*「愛知県需給想定調査」検討書補充版の概要説明・・・在間 正史弁護団長
P10~11	寄稿*「設楽ダム」住民訴訟審の現状と方針について・・・市野 和夫「設楽ダムの会」代表
P12~14	投稿*ダムサイト周辺の地質地盤・現地検証実施を！・・・伊奈 紘「設楽ダムの会」副代表
P15	<「新聞」スクラップ2題 (①岩屋ダム貯水率・・・ ② 長良川河口堰をめぐる動き)>
P16	「イベント」・裁判傍聴の参加、2012会費など 会員・支援者の皆さまへお願い

### ◆「3周年記念&2012総会」のお知らせ(詳しくは同封チラシを！)

と き・ところ 7/7(土) 午後2~4時・桜華会館(名古屋市中区)3F竹の間

平成21年（行ウ）第49号公金支出差止請求事件

原告 小林収外91名

被告 愛知県知事外1名

## 意見陳述書

名古屋地方裁判所民事第9部 御中

平成24年 5月16日

原告 岩田 和己

私は、愛知県名古屋市瑞穂区井戸田町に居住し、名鉄堀田駅北の堀田通りで包装資材商を営む岩田和己と申します。

昭和21年に南方戦線から復員した親父が創業した縄・ロープ資材販売が家業の基礎です。昭和21年といえば、敗戦後世の中全体が大混乱していた時代。物もなく、物さえあれば何でも商品になる時代でした。父が自分で使うために作ったわら縄を路上に仮置きしていたところ、通りがかりの人から売って欲しいと声がかかり、それを譲ったのが始まりだったと聞いております。

堀田といえば当時、ブラザー、エルモをはじめとした中小企業と町工場がひしめき、急行が停車の名鉄本線堀田駅と市電の始発終着堀田駅の交通結節点として、人と自転車、物と自動車があったがえす一大繁華街でした。また、当店前の堀田通りは今では名古屋高速・大高線が高架で走り空港線と呼ばれていますが、昔も市内有数の幹線道路です。

立地に恵まれたためか家業は、日本経済の復興と共にお客様に恵まれ、もはや戦後ではないといわれた昭和30年代後半には、お客様、仕入れ先のお陰で、母と一緒に子ども3人を育て、皆様のお役にたつ会社になってきたかなと思われました。

しかし、そんな父も戦中の軍隊生活のおりかかったマラリアの影響か50才になったばかりの時に心筋梗塞で倒れ、闘病生活を余儀なくされました。

それからの私の生活は19歳にして、一変し、志望していた大学への進学はあきらめ夜間大学で経済を学びながら、昼は仕事を覚えるため父の知人の会社で働きました。父の生きている間なんとか会社は、仕入れ先やお客様に甘えながらやってこられました。

そんな父も58才の若さで永眠し、私と、姉とで会社を引き継ぎました。

その間、二度のオイルショックや不況の中、包装資材業界は、行政の基準の変化、消費税導入、消費税率のUP、ゴミ袋の指定化への再三の変化、レジ袋有料化等により悪影響を受け、在庫負担、売上げの低下など様々な状況に耐えてきました。

39才の年、本社に店舗用品、包装資材を店頭で売る問屋として店舗を併設、地域の皆様に必要とされる店、愛される店をめざして何とか利益の出る店になり、10年後に2号店を名東区に出店しました。しかし、3000万ほど投資した名東店も7年後に撤退することを決断しました。入念なマーケティングに基づき出店した店舗でしたが、バブル経済破綻に伴う景気低迷などもあり、売上げが需要見込みほど伸びず、地域にとって必要な店となる希望は叶いませんでした。

その後確かに借入金の返済などで今日までかなり苦労していますが、あのとき思い切った撤退をしなかったらもっと大変なことになっていたと思います。

亡くなった父ですが、青春時代を全て軍隊生活に取られ、国の政策に翻弄された父は、晩酌が進むほどに、私を膝に抱き上げて戦争体験から、戦争のむなしさ、平和の大切さ、人々が幸せになるための公共、それを担うために納税がある。そんな話を聞かしてくれました。

やっと経営も超低空ながら安定。法人市県民税は赤字でも払っていますが。事業税等もまともに支払えるようになり、一企業人として責任を果たせるようになりました。そして、新聞、雑誌を丹念に読むことや、友人と会話を楽しむ心の余裕が出来るようになりました。

そうした折り、使えなくても何ら不自由しない徳山ダムの貯水を愛知県、名古屋市に運ぶ導水路事業に愛知県が318億円、名古屋市が121億円もの大金、それも私たち県民が必死の思いで支払った血税からムダ遣いすることを聞きつけた私は、すぐさま事業を中止していただきたいと公金の支出差し止めを求める裁判の原告に応じました。

多くの方々が同じように考えています。それが証拠に一昨年2月のトリプル選挙では知事に大村さん、市長に河村さんと「導水路」見直しの村々コンビが大勝利でした。

ところが、当の大村県知事は、長良川河口堰の開門調査や設楽ダムの公開講座には熱意を込めて着手。長良川河口堰の開門調査は県庁内に専門チームを設置するほどの力の入れようですが、導水路問題には全くの沈黙状態です。民主党然り、選挙時の公約が行方不明となって多くの有権者が不安を覚える昨今、大村知事は、「導水路」事業を本気で見直そうとしているのでしょうか？

今年1月の新聞各紙によれば、愛知県の新年度予算は震災、円高の影響か、法人税が低迷して財源不足が1,800億円。また、その対策は更なる県職員の給与削減と県債の発行増などで乗り切り、大村県知事は月給3割減を継続すると報じられています。

借金を返すために借金を重ねる。これではサラ金地獄に落ち込み、いつか北海道の夕張市のように何も出来ない自治体になってしまいます。いま必要なことは、ムダな大型公共事業から手を引くことです。これまで投入してきたお金がムダになる等の考えはさらなるムダを作り出す事です。誰のための公共なのか考え直す時が来たのではないのでしょうか。

導水路建設ノーが県民の総意です。裁判官の皆さま、地球環境の保全と愛知県財政の健全化を実現するためにも、公正な判決を下されますよう切にお願いいたします。

最後に、父が私につけてくれた名前の由来に付いてお話ししたいと思います。

サンフランシスコ講和条約の締結された年に生まれた私に「講和」と「平和」から1文字、父が戦争体験で感じたこと、「おのれに誠実であれ、誘惑にめげず自分自身の信念で生きなさい。」そんな意味が込められた「和己」という名前です。

ありがとうございました。もう一度、裁判官の皆様、公正な判決を下されますよう切に切にお願いいたします。

役所は新しい年度を迎え動き出しています。岐阜県はこの秋に「国体」というビッグイベントを控えています。名付けて「清流国体」。岐阜県で清流と言えは長良川です。

### ◆岐阜県に要請行動

長良川市民学習会は、5月15日岐阜県庁において古田知事あて「清流国体を機として『岐阜県の宝・長良川』の清流回復に向けた要請書」と長良川河口堰調査検討会河村議長あて「清流国体を機とした長良川河口堰『開門調査』実施にかかる要請書」を提出しました。対応者は4月に就任した新河川課長（県土整備部次長兼任）の岩崎さん。国交省治水課から来られました。

私たちは長良川市民学習会を立ち上げてから4年を経過しましたが、交渉相手となる3人目の河川課長となります。どの方も、国交省から来られて国交省に戻って行かれます。岐阜県の河川課長は国交省の役人のポストとなっているのが実態。国交省から見れば岐阜県河川課は、国交省河川局岐阜出張所なんでしょうね（岐阜県の現知事は経産省、前知事は国交省官僚出身）。

◇

◇

◇

課長とのやり取りは1時間でしたが、愛知県の河口堰検証の経過を踏まえ今年こそ河口堰開門調査に岐阜県が踏み出すことと導水路事業をきっぱり中止することを訴えました。

要請行動は14名の参加で行い、そのあと県政記者クラブで記者会見を行いました。記者会見の目的は、「導水路問題」が凍結という煙幕で忘れられつつあることと担当が目まぐるしく変わるマスコミ記者に「改めて、導水路問題とは何か！」を訴えるために行ったものです。アピールするために3年間続けてきた水質試験結果（本会報の前号に一部掲載）を発表しました。10名を超える記者が関心を持ち熱心に耳を傾けてくれました。翌朝「岐阜新聞」「中日」「毎日」「朝日」の各紙面に私たちの行動と訴えが掲載されました。

2012. 5. 16 毎日新聞

2012. 5. 16 岐阜新聞

**長良川河口堰 開門調査、愛知県と国の会議**

**市民団体「県も参加を」**

市民団体「長良川市民学習会」（代表・粕谷志郎岐阜大教授）は15日、長良川河口堰（せき）の開門調査に際し、実現可能性を技術的に検討するために愛知県と国土交通省中部整備局が発足させる合同会議に参加するよう岐阜県に要請した。

同会の粕谷代表らメンバー14人が岐阜県庁に河川課長も兼ねる岩崎福久県土整備部次長を訪ね、「ぎふ清流国体を訪ね、ぎふ清流国体が開かれる今年、全事業の中止も要望。取

国に誇れる清流長良川の復活策として汽水域の回復をも展望する開門調査に踏み出してほしい」と要請、庁内で調査を旨とした準備を進めることも求めた。

岩崎次長は「要請内容を知事に伝える」と話したが、今のところ愛知県から合同会議への参加の打診はないとした。

同会は、徳山ダムに水を長良川などに流す木曽川水系連絡導水路の事業の中止も要望。取

水口付近の水温が放水口付近より最大で6・8度低かった（2008年8月の同ダム試験放水時）とする会独自の計測データを提示し、「異常高水温時は冷たく酸素が乏しい水が長良川中流に放流され、底生生物にとって死の水となり、鵜飼にもダメージを与える恐れがある」と主張し、事業検証のための自治体による検討の場で中止の意思を表明するよう求めた。（小森直人）

**2 河川水温差 6 度**

徳山ダム（揖斐川町）代表は「導水路が完成すれば、温度差により流域に送る導水路計画に絡み、現在ダムの水を流している揖斐川と、流していない長良川の水温が最大6度以上違うことが、長良川市民学習会の調査で分かった。粕谷志郎

代表は「導水路が完成すれば、温度差により流域に送る導水路計画に絡み、現在ダムの水を流している揖斐川と、流していない長良川の水温が最大6度以上違うことが、長良川市民学習会の調査で分かった。粕谷志郎

と、長良川（岐阜市長良古津）の水温や有機物量などを33回調査した。32回は揖斐川に比べ長良川の水温の方が高く、うち23回は2・6・75度も違った。同会によると、水温が2度以上違う層ができる。循環しないために酸素不足となった川底にヘドロが付着し、産卵などの生態系が変わってしまう恐れがあるという。

同会は15日、導水路計画の中止と、長良川河口堰（三重県桑名市）の開門調査の実現を求める要請書を県に提出した。

開門調査については、愛知県と国が設置する予定の合同会議に岐阜県も参加する意思を表明することなどを求めている。

【三上剛輝】



私たちは「愛知の会」のみなさんとともに河口堰開門めざす「よみがえれ長良川！よみがえれ伊勢湾！」実行委員会（以下、「よみがえれ」実行委）の活動を進めています。

「よみがえれ」実行委は、12.10 シンポジウムの取り組みの教訓から、河口堰問題を知らない若い世代や一般市民とりわけ愛知県民にアピールする活動として、なごや環境大学「よみがえれ長良川！」や「長良川下流域ヨシ原観察会」を開催しています。

### ◆よみがえれ長良川！よみがえれ伊勢湾！

なごや環境大学は名古屋市が主催するもので、今年度前期 97 講座あります。そのうち講座「よみがえれ長良川！」は私たちが企画運営します。

第1回は、5月12日「長良川河口堰と河口の漁業」をテーマに開催されました。桑名市の赤須賀漁民のシジミ漁船に乗せてもらって漁を見学し長良川河口の環境を考えようとするものでしたが、当日は「天気晴朗なれど波高し」で船が出られず（残念無念！）……



◇ ◇  
急きょ赤須賀漁港の「競り市会場」をお借りして「しじみプロジェクト」の伊藤研司さんから赤須賀の漁業の歴史、長良川河口堰とのかかわりそして現状のお話を伺いました。漁協青年部のみなさんからたくさん現場の声を聴くことができました。どのお話も、河口堰が長良川のシジミ漁を大きく傷つけている生々しい話でした。一方で、希望を持って様々な取り組みをされている姿勢が印象的でした。

◇ ◇ ◇  
第2回は、6月3日「源流の山と森」をテーマに岐阜県郡上市の山林を大原林産の小森胤樹さんの案内で見学し、森林の見方を学びました。

林業を進める立場から小森さんは日本の森林行政の問題についても鋭く意見を述べられ、参加者は、森林の中で「目からウロコ！」「知らないことばかり」「とっても勉強になった。」と感嘆の声を連発していました。



◇ ◇ ◇  
第3回は、7月15日「長良川リバーツアー」。長良川河口堰建設に反対する会の指導で、長良川中流をラフトで下るイベントを予定しています。

◇ ◇ ◇  
また「よみがえれ」実行委は、全国で取り組まれている「湿地のグリーンウェイブ」に連携し「長良川下流域ヨシ原観察会」を5月26日に開催しました。



千藤克彦先生（元長良川下流域生物相調査団）の指導で河口堰が生物にどう影響を与えているのか長良川、木曽川、揖斐川を比較して観察しました。長良川と揖斐川の背割り堤ではヨシ原に入って、ベンケイガニの生息状況を観察しましたが、生息状況に歴然の差があることが分かりました。長良川は未来の無い生物の「限界集落だ！」の参加者の声に、「河口堰を開門すればよみがえりますよ。」と千藤先生は応えられました。

### ◆「長良川河口堰最適運用検討委員会」がスタート

河口堰の検証をめぐって大村知事が提案する国との「合同会議」設置の話はまだはっきりした状況が見えません。しかし、6月14日には、愛知県土地水資源課が事務局となる「長良川河口堰最適運用検討委員会」がスタートします。

確実な一步の始まりです。この夏も昨年同様、熱い議論の夏になりそうです。河口堰開門調査実現と導水路中止の世論を盛り上げましょう。

寄稿

## 「導水路」事業・愛知県需給想定調査

### 検討書補充版について、概要を説明します！

（「導水路」裁判・弁護士団長） 在間 正史 弁護士

#### 1 愛知県需給想定調査とその検証方法

2004年に全部変更された第IV次木曽川水系水資源開発基本計画（フルプラン）は同年の愛知県の需給想定調査の内容を全面的に採用しています。



国土交通省中部地方整備局  
『第6回木曽川水系流域委員資料-3』に加筆

同調査によれば、愛知用水地域での基準年2000年の需要（日平均給水量436.2千m<sup>3</sup>、日最大給水量521.0千m<sup>3</sup>、最大河川取水地点取水量6.79m<sup>3</sup>/s）は増加し、2015年における需要が日平均給水量489.9千m<sup>3</sup>、日最大給水量616.6千m<sup>3</sup>、最大河川取水地点取水量8.25m<sup>3</sup>/sとなると想定し、徳山ダムに確保される愛知県水道用水は、この最大河川取水地点取水量に対する近年2/20規模渇水年の安定供給水源（供給量1.63m<sup>3</sup>/s）とされています。

検討書補充版は、現時点における最新の資料である2010年度の実績値に基づいて、愛知県需給想定調査の想定値が実績事実と裏付けられているか検証したものです。本稿では紙幅の関係で需要想定について解説し、さらに突っ込んだ供給と比較した需給の検討については、来る7月7日（土）開催の総会・30周年記念講演で解説いたします。

#### 2 需要想定の検証

##### （1）給水量

2010年までの実績は、図に示したように、日平均給水量では、1992年まで増加を続けていましたが、1993年に415.5千m<sup>3</sup>となった後、増加傾向が鈍化して基準年の2000年に435.9千m<sup>3</sup>となって以後は横ばい傾向で、2004年に437.6千m<sup>3</sup>となった後は減少し、2007年に434.2千m<sup>3</sup>、2010年に430.5千m<sup>3</sup>と横ばいです。

日最大給水量では、1992年の517.0千m<sup>3</sup>が最大で、以後は微減して、2000年からは2010年に至るまで50万m<sup>3</sup>程度で横ばい傾向です。

これに対して、2015年想定値は、日平均給水量は489.9千m<sup>3</sup>であり、2010年（実績値430.5千m<sup>3</sup>）までの実績の傾向とは乖離していて、実績事実の基礎づけを欠き連続性が認められません。また日最大給水量616.6千m<sup>3</sup>は、一層2010年（実績値499.1千m<sup>3</sup>）までの実績傾向よりも乖離していて、実績事実の基礎づけを欠き連続性が認められません。

給水量の2015年想定値は、2010年までの実績傾向とは乖離していて不連続に急に上昇することになり、実績事実の基礎づけを欠いていて過大な値となっています。

##### （2）負荷率

愛知県水需給想定調査の水需給比較は、需要量は日水量についての最大水量によっています。平均水量を負荷率（平均水量/最大水量）で除して当該年で最大となる日の水量（給水量であれば最大給水量、取水量であれば最大取水量）を求めて、これと供給量とを比較しています。

図から明らかなように、愛知用水地域の最大給水量と平均給水量との差は、2015 年想定値は、実績と比べると、2010 年の前 10 年間の実績値より大きく、特に最近の傾向を示す近年 5 年と比べると一層大きくなっています。

図のように、負荷率は、1995 年以前は 0.8 を下回る年がありましたが、1996 年以後の 2010 年までの推移は、2004 年までは 0.83 前後と高くなり、2005 年からは一層高くなってほぼ 0.85 を超えるようになっていきます。負荷率は、1996 年、さらに 2005 年を境にして顕著な変化が生じ、大きくなってきているのです。

愛知県需給想定調査で用いられた負荷率は 0.795 で、2010 年からは 15 年以上も前の古い値であり、最近のほぼ 0.85 を上回る傾向とは異なる低い値です。その結果、最大給水量と最大取水量が大きな値となるように計算されているのです。

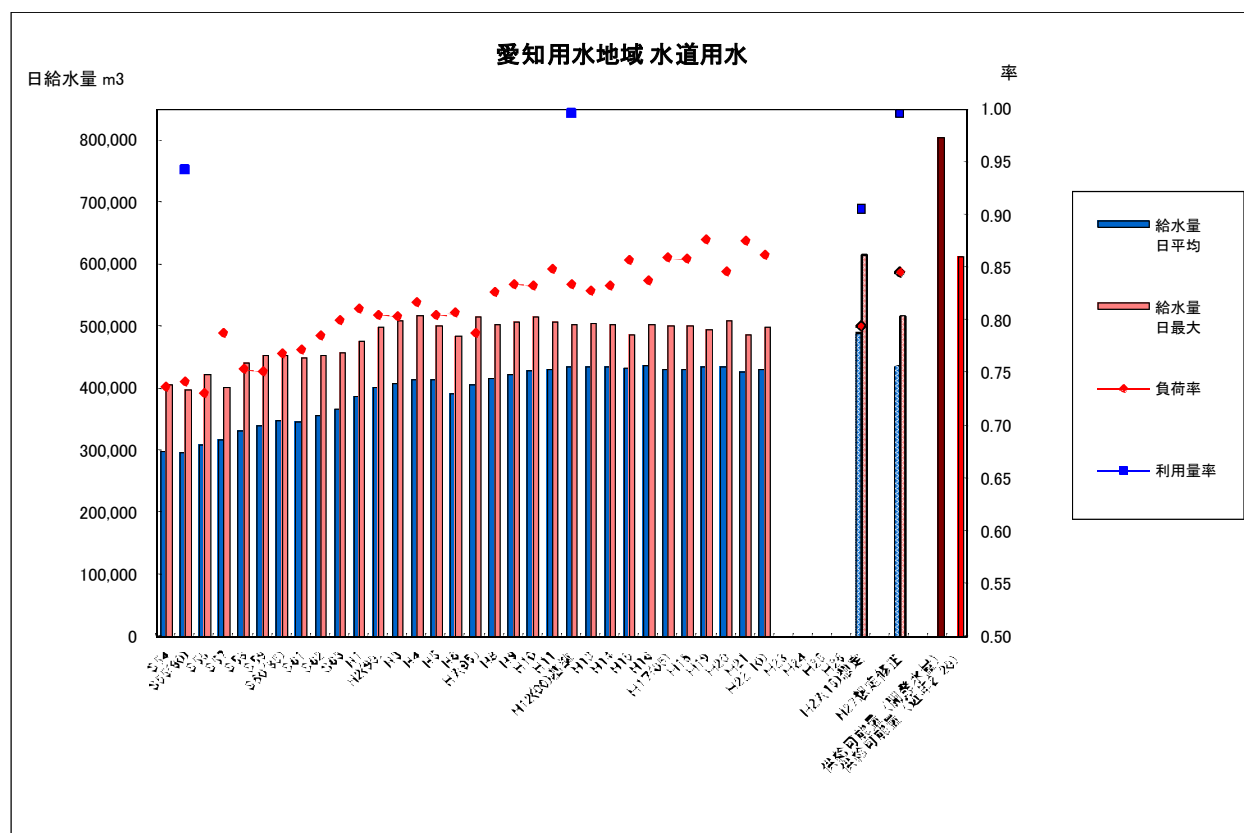
図のように、最大給水量の 2015 年想定値が実績と大きく乖離して実績事実の基礎づけを欠く過大な値となっている大きな理由はこれにあります。

### 3 需要想定の適正な修正

日平均給水量の 2015 年想定値は、実績に基づいて適正に修正すると、給水量が大きくなる「安全側」の値をとったとしても、基準年の 2000 年以降の最大値である 2004 年の 438 千 m<sup>3</sup> を用いるのが相当です。

負荷率の実績値は段階的に上昇して 2005 年以降はほぼ 0.85 を上回るようになっていきますので、この実績事実に基づいて修正し、最近の近年 5 年間最小の 2008 年の 0.846 にしますと、日最大給水量は 518 千 m<sup>3</sup> となり、想定値の 616.6 千 m<sup>3</sup> より約 10 万 m<sup>3</sup> も少なくなります。

図で一層明らかなように、愛知県需給想定調査の 2015 年需要想定値は実績と乖離した過大なものであることが分かります。



供給可能量は、水資源開発施設の水源は取水が可能な牧尾・阿木川・味噌川（西三河送水なし）のダムである。水量は「国土審議会水資源開発分科会第 2 回木曽川部会資料 6」2004.4 による。

愛知県『愛知県の水道』、『木曽川水系水資源開発基本計画需給想定調査・調査票』2004.3 より作成。

# 投稿 市民運動を根絶やしにする「秘密保全法」を止めよう！

（「導水路」裁判弁護団）弁護士 濱 篤 将 周

## ◇ はじめに

この度は、「導水路はいらない！愛知の会」に、「秘密保全法に反対する愛知の会」の団体会員になっていただき、ありがとうございます。

私濱篤は、「秘密保全法に反対する愛知の会」の事務局長をしております。そこで、「導水路はいらない！愛知の会」のニュース紙面をお借りして、皆さんに対し、秘密保全法の問題点と、「秘密保全法に反対する愛知の会」の活動の様子をお伝えいたします。

## 1 「秘密保全法」の成立が迫っています

政府の有識者会議は昨年8月、「秘密保全のための法制の在り方について（報告書）」を政府に提出しました。これを受けて政府は、「秘密保全法」の整備が喫緊の課題であるとしています。懸念されていた今国会中の法案提出は見送られましたが、次期国会にも提出する構えを見せており、予断を許しません。

## 2 「秘密保全法」には極めて多くの問題点があります

少し上の世代の方なら、かつて国会に提出されたものの国民の強い反対で廃案となった国家機密法（スパイ防止法）案を思い出されるかもしれません。今回の秘密保全法も同様の、あるいはそれ以上の問題があります。問題点のキーポイントは、①「特別秘密」の指定、②「人的管理」、③罰則の強化です。

詳しくは愛知県弁護士会意見書・自由法曹団意見書等をご覧いただきたいのですが（すべて後記の「秘密保全法に反対する愛知の会」のブログから拾うことができます）、おおよそ以下のような問題です。

### (1) ①何が「秘密」か



「特別秘密」の対象となるのは、i 国の安全、ii 外交、iii 公共の安全及び秩序の維持の3分野です。かつての国家秘密法ですら対象としていなかったiiiの分野が挙げられていることには、とくに注意が必要です。これでは例えば、原発事故に関する情報だって、「放射能の汚染状況が正確に国民に伝わればパニックが起きるから、『公共の安全及び秩序の維持』のために『特別秘密』としておこう」とされるかもしれません。

しかも、具体的な「特別秘密」事項を指定するのは、当の行政機関だということですから、いわば決めたもん勝ちです。本来国民に知らされるべき重要情報が、行政の都合で「特別秘密」にされてしまうことは間違いのないでしょう。

### (2) ②どのように秘密を「管理」するか

秘密の「管理」については、「人的管理」の必要性を強調しています。これは、秘密を取り扱う業務に従事する人について、学歴、国籍、海外渡航歴、活動歴、病歴、経済状況等々を詳細に調査し、配偶者等についても調査して、情報漏洩のリスクが高くないかチェックしなさいというものです（これを「適正評価制度」といいます）。調査対象者のプライバシーなどまったく顧みられず、その結果に基づいて“区別”されるわけです。



また、調査の対象となる本人は、なにも国家公務員に限ったことではありません。現在では、国のさまざまな事務や権限が地方公共団体に委譲されたり、民間に委託されたりしていますから、地方公務員や民間企業労働者、NGO職員も対象となりえます。配偶者等についての調査もあわせ、皆さんも知らず知らずのうちに調査されているかもしれません。

### (3) ③どのような行為が「処罰」されるか

秘密の故意（わざと）の漏洩のみならず、過失（うっかり）の漏洩も処罰の対象とされます。また、漏洩行為についての独立教唆（そそのかす行為）、扇動（あおる行為）、共謀（相談や議論）や、さらに「特定取得行為」と称する秘密探知行為と、それについての独立教唆、扇動、共謀をも処罰の対象としています。これでは単純な取材行為だって、市民の正当な情報公開を求める行為だって処罰対象となりかねません。

前述の「特別秘密」の範囲の曖昧さとあわせ、何をしたら処罰されるかは非常に不明確です。記者の取材活動や市民運動に対する萎縮効果は非常に大きく、市民の知る権利が著しく侵害されることは明らかです。

## 3 秘密保全法制の成立を阻止しましょう

以上のように、今検討されている秘密保全法制は、非常に危険な仕組みです。

とにかく、「秘密保全法」が成立すれば、報道機関の取材活動が著しく制限され、市民の知る権利が著しく侵害される一方で、市民はプライバシー情報を政府に入手されて監視される、そんな息苦しい世の中になってしまうのは明らかです。

ただでさえ、これまでの政府は、市民に明らかにしても構わないはずの情報、市民に明らかにすべき情報を隠してきました。地道に環境問題等に取り組んできた皆さんも、何度か腹立たしい思いをしてきたのではないのでしょうか。そんな政府に「秘密保全法」というアイテムを与えてしまうのは、例えは悪いかもしれませんが、「盗人に追い銭」でしょう。民主的な国家のために大切なことは、秘密の保全ではなく、情報の公開のはずです。

このような秘密保全法の成立を阻止すべく、市民から「反対！」の声を上げようと、弁護士・市民の有志で立ち上げたのが「秘密保全法に反対する愛知の会」です。



「秘密保全法に反対する愛知の会」は、これまで、隔週で街頭アピールを続けてきたほか、独自の学習会の開催、各地学習会への講師派遣等の活動を続けてきました。これまでの活動・今後の活動について、ブログ(<http://nohimityu.exblog.jp/>)をご覧ください。

### ◇ おわりに

せっかく「導水路はいらない！愛知の会」にも団体会員になっていただきましたので、是非、「導水路はいらない！愛知の会」でも会内学習会を企画していただければと思います。よろこんで講師をさせていただきます。また、「導水路はいらない！愛知の会」の会員の皆さんにおかれては是非、「秘密保全法に反対する愛知の会」の個人会員にもなってください。

皆さん一緒に反対の声を上げ、秘密保全法の成立を阻止しましょう。

---

**お待たせしました！** ～風媒社より全国民必読のブックレットが堂々出版～

中谷雄二・近藤ゆり子共著「これでわかる！秘密保全法の本当のヒミツ」

<媒社刊> 定価 630 円（予定価格）・7/13（金）より販売予定



【設楽ダム建設事業公金支出差止事件】

## 住民訴訟控訴審の現状と方針について

(「設楽ダムの建設中止を求める会」代表 市野 和夫)

### <控訴審の経過>

2007年4月に名古屋地方裁判所に提訴し、2010年6月30日に、設楽ダム基本計画等に予算執行上見過ごせない瑕疵があれば違法であるとし、愛知県の水道用水の需要予測が過大であることを認定しながら行政裁量を無限定に認めた1審判決を受けて、現在、名古屋高裁において控訴審が進められています。



去る6月5日に第7回口頭弁論がありました。これまでに住民側から7本の準備書面と現地検証の実施を求める書面1通を出しました。これに対して愛知県側から6本の反論書面と意見書が1通出されています。

### <控訴審で公金支出差止判決をめざすために>

控訴審では、1審判決のような行政裁量を無限定に認めることのないように、裁量権の範囲について、最高裁の判例に基づいて明確にしました。すなわち、公金支出の根拠となる設楽ダム基本計画（および、その基礎となっている豊川水系河川整備計画と豊川水系水資源開発基本計画）について基礎とされた重要な事実について、誤認等があることにより重要な事実の基礎を欠く場合、または、判断過程において考慮すべき事柄を考慮しないこと等により社会通念に照らして著しく妥当性を欠く場合に、行政裁量の範囲を逸脱するものと判断しなければならないと主張しています。

### <控訴審での立証、主張>

その上で、設楽ダム計画の根拠とされている重要な事実の基礎が欠けていて、または、考慮すべき点が考慮されていなかったりして著しく妥当性を欠いて、裁量範囲を逸脱していることを証拠に基づいて、明らかにしてきました。



すなわち、設楽ダムの建設根拠とされている、①「水道用水の不足」はないこと、②不足するという根拠を導き出した前提としての「小雨化傾向」は事実ではないこと、③「新規かんがい用水」の必要量を求める計算に間違いがあり正しく計算すればかんがい用水の不足はないこと、④設楽ダムの貯水容量の大半を占める「流水の正常な機能の維持容量」の基礎とされる「豊川のアユの産卵場所・条件」や、「豊橋市の水道水源の塩水化」について、根拠とされる事実の基礎を欠いていること、⑤「大野頭首工下流の瀬切れ」は、「大野地点で全量取水せず、下流の牟呂松原頭首工でその分を取水して豊川用水東部幹線に既存設備を使って送水する代替案」が考慮されていないこと、⑥洪水対策として設楽ダムを含む現行河川整備計画を策定する際に極端な「河道全掘削」「河道内樹木の全伐採」という案は検討したが、実現性のもっとも高い「部分的な（河道掘削＋樹木伐採）」案を考慮しなかったことは社会通念上著しく妥当性を欠いていること、⑦ネコギギ保全の実効性が担保されていないなど、証拠・根拠を示して明らかにしてきました。



加えて、国土研の地質調査結果を踏まえて、ダム建設予定地は、深部まで亀裂が発達し、風化が進み、規模は大きくはないが複数の断層破碎帯が通り、火成岩の貫入による熱変性をも受けて崩れやすいことから、ダム建設事業の前提が整っていないと主張しました。

現地検証では、豊川水系の治水、利水、環境について、要所を下流から上流まで視察する予定です。裁判所が現地の状況・事情を十分に踏まえた判断をするために、現地検証は必要不可欠です。皆様のいっそうのご支援をお願いします。

① 豊川水系フルプランの中間点検が行われています。

◆ ◆ ◆



② 愛知県主催「とよがわ流域県民セミナー」(設楽ダム連続公開講座)

テーマは「とよがわ流域ってなに？」です。講師は、藤田佳久氏、および蔵治光一郎氏のお二人です。

初回は豊橋で  
来月28日開催  
設案ダム講座  
県が開催する設案ダ  
ム公開講座「よがわ  
流域環境セミナー」の  
運営チーム会議が八  
日、豊橋市の東三河  
合庁舎であり、第一  
回の講座を七月二十八  
日午後一時から市内の愛  
知大豊橋キャンパスで  
開催することを決めた。  
初回のテーマは「よ  
がわ流域ってなに？  
」とし、年度内に四  
回五回公開講座の全  
体を理解してもらう。  
愛知大藤田佳久名  
誉教授（地理学）が  
豊川や豊川流域の歴史や  
特徴について講演し、  
運営チームメンバーで  
東京大大学院の蔵柏光  
一郎准教授（水文学）  
は河川の集水域管理に  
ついて国内外の事例を  
解説する。来場者との  
質疑応答に一時以上  
を確保する予定。初回  
講座には大村秀章知事  
も参加する。  
参加には事前申し込み  
が必要。豊県土地水  
資源課☎0522（9  
54）6122

## 6 / 5 (火) 「設楽ダム」控訴審・第7回口頭弁論を傍聴して

「設楽ダム」は、深刻な環境問題に加えて、地元ではダムサイトの地盤構造を危惧する声が上がっています。昨年実施の専門家による調査では地質は脆く、ダム建設により大規模な岩盤崩壊や水漏れを引き起こす恐れ有り、事実は噂通りと判明しました。

先の第8回口頭弁論では、「現地調査」の実施採用を巡って被控訴人（県知事ら）側と厳しく準備書面などをやり取りしましたが、同法廷では「設楽ダム建設中止を求める会」の伊奈 紘 副代表が心を込めて力強く「控訴人意見陳述」をされました。ご本人との懇談で、見だしと資料を付けて再録します。 (共同代表・事務局長 加藤 伸久)



—設楽町民はダム建設にずっと反対してきました—

### ダムサイト周辺の地質地盤について現地検証の実施を！

「設楽ダム建設の中止を求める会」副代表 伊奈 紘

私は、岡崎市に生まれましたが、昭和43年に新任教諭として北設楽郡に赴任し、昭和47年から今日まで40年間設楽町田口に住んでいる者です。

#### 1 実は現在の設楽ダムは3度目の計画です

- (1) 発端は昭和24年 農業水利事業として、田口ダムと宇連ダム案が検討されたが、田口鉄道の付け替え問題があり、宇連ダム案に決定され、消滅した。
- (2) 2度目は昭和36年 電源開発に伴う設楽ダムが持ち上がるが、地質調査の結果、建設は困難と判断され、昭和38年には早々の立ち消えとなった。
- (3) 現在の設楽ダム計画は3度目。昭和45年に計画された。  
われわれ設楽町民は都合63年間、ダム問題に振り回されてきたことになる。

#### 2 設楽町民はダム建設にずっと反対してきました

- (1) 設楽ダム建設反対連絡協議会が発足したのは、2度目のダム計画が持ち上がった昭和37年（50年前）。この時、町長は「反対意見書」を知事に送付した。
- (2) 最も反対が激しかったのは、昭和48年（39年前）。県が調査協力を町に求めた時である。町民5,158人の署名による建設反対の請願書が、県議会議長に提出され、49年6月の町議会で「設楽ダム反対についての決議」が満場一致で採択された。
- (3) しかし、県は設楽ダムをあきらめず、昭和55年に国道420号線バイパス工事のためと嘘を言って、航空測量を求めてきた。このあたりから町は非常に苦しい立場に置かれた。絶対反対派、あきらめ派、積極的に受け入れ町の活性化に生かそうという派にわかれ、揺れ動く。

#### 3 転機は昭和62年（25年前）でした

- (1) 県の要請が激しく、町はやむをえず、「調査はさせるが建設はさせない」という屁理屈で、航空測量を受け入れた。結果、これが大きな過ちであった。



- (2) 平成3年には「設楽ダム建設反対連絡協議会」が解散され、新たに「設楽ダム対策協議会」が発足し、いつの間にか、あきらめムードが漂い始め、条件闘争に変遷し始める。

#### 4 このころから住民への情報が次第に遮断されるようになる

- (1) 設楽ダム対策協議会は、国土交通省がその経費をすべて賄い、水没者や地権者以外には情報がまったく伝わらない状況になる。
- (2) 平成8年 設楽ダムはそれまでの計画、8,000万トン ロックフィルダムから総貯水量1億トンの重力式コンクリートダムに変更されたが、なぜか、そのわけは、町民の誰も知らなかったし、現在もこれを十分説明できる人はいない。

#### 5 平成20年政権交代の予感がしたのか、設楽ダム建設は大きく動き出した

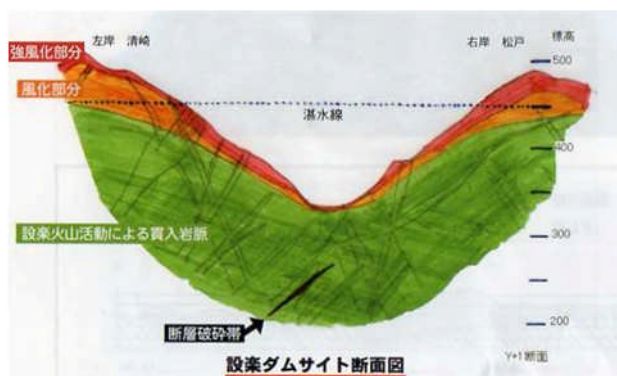
- (1) 町はそれまで、ダム建設受け入れの条件としてきた37項目をあっさり引っ込め、確約事項を7項目に絞り、国、県とあわてて建設同意書を交わそうとした。
- (2) 町の将来を左右する大問題だと、私たちは住民投票を求めて署名集めをする(約1,500名の署名)が、署名集めの期間中に、推進派のグループが住民投票をさせない請願書の署名集めをするなど、あからさまな妨害活動が行われた。
- (3) 住民投票に先立って町内13箇所で行った設楽ダム学習会開催には、国交省・県職員による妨害活動まで行われた。

#### 6 設楽ダム建設は、設楽町の発展につながるというのは幻です

- (1) 建設会社や、水没者、地権者に一時、お金が入り、潤うかもしれないが、町の人口が減り、町は確実に衰退する。
- (2) ダム建設受け入れの見返りに町が要求した箱物は、分不相応で、利用価値が疑問視されるものばかりで、今後の維持管理費は残された住民の負担になる。
- (3) 多額の補助金や交付金のせいで、自らの手で町を活性化しようとする住民の意欲を喪失させてしまう。
- (4) 設楽ダムは発電や工業用水に使われないため、できてしまった後は、地元設楽町にとってほとんどメリットはない。

#### 7 裁判官にお願いしたいこと

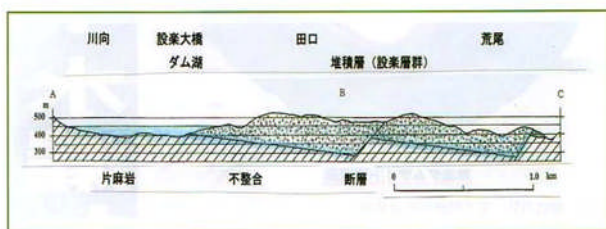
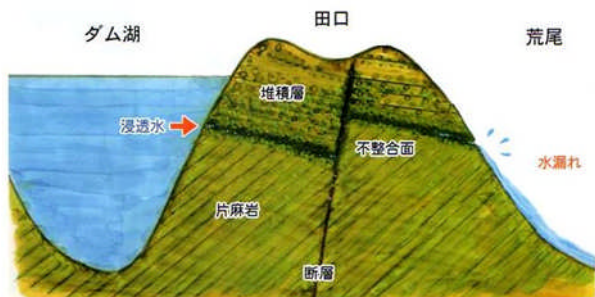
- (1) ダム建設には多額の血税を注入しなければなりません。計画から40年以上経過し、水環境が大きく変化した現在、設楽ダムが今も本当に必要なものなのか？を改めて冷静に考えてほしいと思います。



- (2) そのためには、建設の元になっているデータの信憑性や裏づけの根拠を正確に分析して、正しい判断をしてほしいと思います。
- (3) 環境問題や経済問題などダムにまつわる課題は沢山ありますが、一番大切なことは人の命です。ダムができることによって、流域に住む人々の生命や財産が守られると考えるのは短絡的です。かえって人の命が危機にさらされると私は心配します。



ダム湖の水は浸透して、漏れる？（設楽町田口付近の地質断面のようす）



ダム直近にいくつかの断層がありますが、これまで全く調査報告されていないものもあります。

(4) ダムサイトの岩盤の脆弱性、ダム湖からの水漏れ、湖岸の地すべり、大地震が起きたときの危険性などを専門家が指摘しています。深刻な問題です。危険性が高いと指摘される場所に、あえて不要なダム建設を行い。万一大きな事故が発生した時どれほどの犠牲者が出るのか、考えただけでぞっとします。GOサインを出した方はその責任を取れるのでしょうか。福島原発と同じ恐怖を私は感じます。

(5) そのためにも、裁判官におかれましては、現地をつぶさに視察して頂き、ご自分の目で、肌で現実を感じ取ってほしいと思います。事実の一つです。

(6) われわれ設楽町民はもとより、豊川の流域住民が末永く、豊かな自然の中で、平和な暮らしをし続けられるように、どうか賢明なご判断をしていただけますよう、切に心よりお願い致します。

## 追記

## 現地調査をしないようにの愛知県の意見書

控訴人側が要請の現場検証に対して、被控訴人（愛知県知事ら）側より想像を絶する「意見書」が提出されました。私伊奈 紘 が一番腹が立ったのは、「検証の不要性」をあれこれ述べる独自の见解です。原文でそのまま載せます。どう思いますか？

……（前文省略）……

(3) 控訴人らは更に、ダム建設予定地付近の地盤構造に係わる立証趣旨として「設楽ダム建設予定地は、破碎帯を伴う断層が通っており、また不安定な風化層、不安定な強風化地塊が存在し、ダム基盤が安定を保つことは想定できず、ダム建設を避けるべき場所である」ことを挙げている。

しかし、被控訴人らが当審における準備書面2及び準備書面6において詳述したとおり、設楽ダムの建設予定地がダム建設に不適切であるとする事情は認められず、さらに、控訴人らの主張は、自らボーリング調査を行った結果に基づくものでもなく、主に国土交通省の調査結果を自らに有利なように曲解した上でなされた独自の见解に過ぎず、そのような控訴人らの独自の见解を確認したとしても、本件の争点を明らかにすることができる証拠資料が収集できる可能性など皆無であるから、ダム建設予定地付近の地盤構造について、そもそも検証の必要性が認められないのである。

5 結語 以上より、本件検証の申し立てに係わる検証は、証拠調べの方法として全く不適切であり、またこれを行ったとしても、本件の争点を明らかにすることができる証拠資料が収集できる可能性など皆無であることはあきらかであるから、本件検証の申し立ては如何なる意味においても必要性が認められず、採用の余地はないのである。 以上

## お願い

## 名高裁・林道春裁判長あて「現地検証」要請ハガキにご協力を！

現在、次回裁判（8／20）に向けて現地検証要請ハガキに取り組んでいます。「導水路はいらない！愛知の会」の皆さま、同封のハガキ（切手はカンパで）にて、ご協力のほどよろしくお願いします。……「設楽ダム建設の中止を求める会」奥宮事務局長 発

名古屋地方気象台は8日、「東海地方が梅雨入りしたとみられる」と発表した。平年と同じ日で、昨年比で17日遅い。

名古屋市中村区の名古屋駅前では、午後5時ごろから雨が降り始め、暗くなるにつれて雨脚が強まった。傘を差して家路を急ぐ人の中には、バッグやタオルを頭に乘せて、雨をしのぐようにする人の姿もあった。

水資源機構、来週にも

独立行政法人・水資源機構の木曽川用水総合管理所（愛知県稲沢市）は8日、岩

屋タム(岐阜県下呂市)の貯水率が5割を切れば節水を要請すると関係自治体に伝えた。東海地方は同日梅雨入りしたが、貯水量は6割を下回っており来週にも節水が始まる可能性がある。

この日、東海3県と名古屋市、土地改良区などの担当者が、貯水量の低下が続いた場合の節水対策の手法やスケジュールを話し合った。小川亘所長は、1週間前は約74%だった貯水率が15%低下したことを挙げ、「同様の状況が続くと、来週にも対策(節水)が必要になる」と述べた。

影響を受けるのは、愛知県の一宮、春日井市など尾張地域の13市4町1村、岐阜県的美濃加茂、可児市など2市4町、三重県の桑名、四日市市など北勢地域

6 / 9 ・ 朝日新聞 ・ 朝刊

中部地整など

國土交通省中部地方整備局と水資源機構は十六日、三重県桑名市にある長良川河口堰でのフラッシュ操作の運用などについて、地空関係者との意見交換会を市内で開いた。

水谷元桑名市長、三重県、愛知両県や名古屋市の職員、準協関係者ら二十六人が出席。中部地方整備局の田村秀夫

河川部長が「塩水の滲  
上防止という本来の目  
的を堅持しながら一  
層、環境面に配慮した  
運用をしていきたい」  
とあいさつした。写真



全のため、昨年四月からゲートを上げて一時的に放流量を増やすフラッシュ操作の回数を増加。低層部の酸素量に改善がみられ、本年度は一回の放流量を倍増のせりなどして検証することを経験した。

水谷市長は「水源でもあり、上流に塩分が侵入しないようお願いしたい」と要望。漁協代表は「ジミの生息環境は改善してきたが、よの進めてほしい」と話した。底質調査や底

第1回愛知県長良川河口堰最適運用を開催します

6月4日（月）記者発表

- 1 開催日時等……………省略  
2 傍聴申込方法……………省略  
3 愛知県長良川河口堰最適運用検討委員会委員

全体総括	◎小島 敏郎	青山学院大学国際政治経済学部 教授 愛知県政策顧問
利水チーム	○伊藤 達也	法政大学文学部 教授
	蔵治 光一郎	東京大学 生体水文学研究所長 准教授
	富樫 幸一	岐阜大学地域科学部 教授
塩害チーム	○今本 博健	京都大学 名誉教授
	大橋 亮一	長良川漁師
	藤井 智康	奈良教育大学教育学部 准教授
環境チーム	山口 正士	ルミナス・ヒムカ水生物研究所 (元琉球大学教授)
	向井 貴彦	岐阜大学地域学部 准教授
	○村上 哲生	名古屋女子大学家政学部 教授

◎は座長、○はリーダー

# ◆◆◆会員の皆さまへ “イベント参加&2012会費” のお願い◆◆◆

<①、②とも、問合わせ先 「設楽ダムの建設中止を求める会」事務局（奥宮宅Tel. 0532-54-7305）>

—乞うご期待！ 奥三河・設楽を歩くシリーズ— （詳しくは同封チラシ参照）

## ① 6／27（水） 第1回 「田口の町並と鹿島山～鞍掛山の山並を見る」



この度設楽町の住民が中心となって、設楽の自然を紹介していこう、ということになりました。この会が町おこしに繋がったら幸いです。設楽には50年来“手つかず”の自然が息づいています。

次回は清流を眺めながら、東海自然歩道も歩いていただく計画です。春は花桃の里へ、と設楽の自然をご紹介させていただきます。ぜひみなさん、設楽へお越し下さい。……設楽の自然を愛でる会・会員一同

◆参加費：1千円（奥三河郷土資料館入場券、昼食付）※雨天の場合は中止

—総事業費3千億円の設楽ダムは中止し、東北大震災の復旧復興に回せ！—

## ② 8／20（月）「設楽ダムの建設中止を求める」控訴審・第8回口頭弁論



第7回口頭弁論で控訴人（住民）側は、豊川の治水・利水・環境と、ダムサイト周辺の地質地盤について、検証ポイントを示した地図と検証の意義を明らかにして、検証実施を行うよう要請しました。

ところが、被控訴人（県知事ら）側は、不要とする「反論」意見書を提出。ただちに控訴人側は「求釈明」を表明したところ、裁判官は合議の結果、今後の裁判の進め方「進行協議」を7／9に持つこととなりました。

◆「控訴審」裁判・第8回口頭弁論 と き・ところ 午後4時～名古屋高裁・第1号法廷

—みんなでつくるホンモノの地方自治 “現実を知る／学びの場／ネットワーク” —

## ③ 7／22（日） 第54回自治体学校「健全で安全な水循環を考える」分科会

<問合わせ先：「名古屋水道労組」（052-971-3105）、又は「豊橋市職員労組」（090-1284-1298）>



「水」は、健全な水循環によって保たれ、自然と共存してしか利用が出来ない国民共有の財産です。「自治体学校」実行委員会では、自治体労組と市民団体など協力し、水を通じて、持続可能な社会をつくるための学習・討論を行います。また、「災害に必要な備え」についても考えます。

\*講 演：市野 和夫・元愛知大学教授

\*レポート：「長良川市民学習会」「設楽ダムの建設中止を求める会」など

◆と き・ところ 10：00～16：00 於；アクトシティ浜松、参加費；1千円（上限20名）

—2012年度の会員更新（及び新規申込み）などのお願い—

## 徳山ダム「導水路」裁判にいっそうのご支援をお願いします！



日頃より、「導水路はいらない！愛知の会」にご協力いただき有り難うございます。現在、2012年度の会員更新を承っております。ムダな「導水路」事業を止めさせるべく、引き続き会員（一般及び原告）として、いっそうのご支援をお願いいたします。

会費納入にあたっては、同封「振込票」をご活用下さい。

\*原告会員……1口・5千円

（※ご協力可能な方は、2口・1万円をよろしくお願いします。）

\*一般会員……1口・2千円